

青文字:記入例

赤文字:動物実験計画書を書く上での注意点(作成における注意点)

2026・2027年度熊本大学動物実験計画書

熊本大学長殿

<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 変更 (選択項目を■) 提出年月日 年 月 日 受付番		責任者とは別の連絡先にする場合は、氏名、TEL、e-mail を記入して下さい。	
※変更の場合変更事項を朱書きで記入		※継続、変更の場合前回の計画書の承認番号 ()	
動物実験責任者名 <small>(括弧内にフリガナ) ※教育訓練を受講していない場合は、教育訓練受講予定と記入(記入例を参照)</small>	氏名(フリガナ)・e-mail	部局名、分野・学科名	職
	ケマ ダイ タ カ 熊 太 郎 oooooo@stud.kumamoto-u.ac.jp	生命資源研究・支援センター 病態生物学分野 連絡先TEL: (内) 6205 連絡先 TEL e-mail: 熊大次郎 (内)6205 ooo@kumamoto-u.ac.jp	大学院生 <small>大學生、研究員指導員の氏名 本荘 次郎</small>
動物実験実施者名 <small>(括弧内にフリガナ) ※教育訓練を受講していない場合は、教育訓練受講予定と記入(記入例を参照)</small>	九品寺 桜子 (クホンジ サクラ子)	病態生物学分野	准教授
	CLINT SMITH (クリント スミス)	病態生物学分野: ○○教育部	大学院生
	大江 花 (オオエ ハナ)	病態生物学分野: ○○学部	学部生
<p>教育訓練を受講していない、もしくは5年以上前に受講したものそのそれ以降の受講がない場合に記入し、必ず受講して下さい。</p> <p>院生・学部生は、実験を実施する分野や講座等とともに、自身の所属も併記して下さい。例: ○○教育部等</p>			
研究課題 <small>(選択項目を■)</small>		○○○○の発がんへの関与及びその○○○の抗癌作用の検討	
<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて記入欄を追加あるいは別紙を付けて記入して下さい。 <small>(選択項目を■)</small>		示を希望しない理由:	
		○○は、がんへの関連が考えられている。○○○○を○○した遺伝子改変マウスを用いることで、その仮説を検証する。さらに、○○モデルマウスに○○○○の抑制薬△△を投与することで、△△の抗がん剤としての有用性を検討する。	
		<p>苦痛のカテゴリーが D の場合は、エンドポイントを設定する必要があります。</p> <p>方法及び動物に加える処置を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」欄に記入。用語は略さずに記入、薬物を投与する場合は実験のどの段階で行うか示す) 動物の苦痛軽減・排除のための方法</p>	
不開示がある場合は、「不開示」にチェックするとともに、該当部分をマーカーで示して下さい。 不開示にするのは薬品名やキーワードなど、できるだけ限られた語句になるようにして下さい。		○○構成因子である○○を○○により○○○○的に過剰発現できるランジェニックマウス Tet-XX-ドキシサイクリン入りの水を投与することで、○○○○を活性化させる。このマウスにおける○○がんの発症の有無を解析する。がん発症が予想されるため、想定される苦痛のカテゴリーは D である。がんの進行により、急激な体重減少などが見られた場合は、安楽死を行い、終末を回避する(人道的エンドポイントの設定)。	
 <small>(選択項目を■)</small>		② ○○マウスの背部皮下に○○○○細胞株を移植し、○○モデルマウスを作製する。このモデルマウスに○○○○の抑制薬△△を投与し、がんの大きさを計測することで、△△の抗がん剤としての有用性を検討する。細胞移植手術は麻酔下で行い、術後の疼痛が予想される。苦痛のカテゴリーは C である。実験は○月間のがんの大きさの変化を観察するが、マウスに回避できない重度のストレスあるいは痛みがかかるないように、がんの大きさが 1 cm に達した段階で、その個体は安楽死させる。苦痛のカテゴリーは C である。	
		次頁「想定される苦痛のカテゴリー」欄に C、D 及び E にチェックした場合は、文章中に上記アンダーラインのような文章を必ず記入して下さい。	
		記入欄が不足する場合はスペースを拡大あるいは別紙を付けて記入して下さい。	
具体的な研究計画と方法 <small>(選択項目を■)</small>		開示を希望しない理由:	
実験実施期間 <small>(最長2年以内の年度末まで)</small>		承認後 ~ 2028年 3月 31日 実施期間は2ヶ年度以内です。 左記の範囲内で記入して下さい。	
		日	

動物実験の種類 (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 試験・研究	動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 代替手段がない。				
	<input type="checkbox"/> 2. 教育・訓練			<input type="checkbox"/> 2. 代替手段の感度・精度が不十分である。				
	<input type="checkbox"/> 3. その他			<input type="checkbox"/> 3. その他()				
使用動物 (実験実施期間に 使用する匹数を 記入)	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質 丸印	入手先(導入機関名)	備考	
	マウス	Tet-XX	雌雄	50	SE,クリーン,CV	熊本大学		
	マウス	B6	雌雄	20	SE,クリーン,CV	九動		
	マウス	nude	雌雄	60	SE,クリーン,CV	九動		
遺伝子改変マウスは1つの系統として下さい。系統維持のために使用する数も含めて下さい。必要に応じて記入欄を追加しても構いません。下記の算出根拠は記入欄毎に記入して下さい。								
上記動物の算出根拠と この動物種を使用しなけ ればならない理由 (動物種ごとに)	算出根拠 : 実験1 1回の実験でTet-XX, B6を各10匹使用する。再現性確認の為に一回繰り返すので…計20匹 また、Tet-XXは系統維持のために30匹使用する。 実験2 1回の実験でヌードマウスを30匹使用する(対照群、△△低用量群、△△高容量群各10匹)。再現性確認の為に一回繰り返すので…計60匹 合計 130匹							
	マウス使用の理由 : 実験動物としては小型で一般的に広く利用されて 動物資源開発研究施設は「新館」と「本館」があります。利用する場合は該当するところにも チェックをして下さい。 動物資源開発施設とその他の施設を重複して利 用することは出来ません。複数の施設を利用する 場合は、「具体的な研究計画と方法」欄に、施設 毎に実施者を区別して記入して下さい。							
動物の飼養保管 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 動物資源開発研究施設 (<input type="checkbox"/> 新館 <input type="checkbox"/> 本館) <input type="checkbox"/> アイトープ総合施設 <input type="checkbox"/> 薬学部実験動物施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他の施設(研究支援棟 飼育室) (申請中の場合 : 受付番号) 承認番号(29-000 AZ) 2017年 8月 15日 年 月 日							
動物実験の実施場所 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 動物資源開発研究施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 新館 <input type="checkbox"/> 本館) <input type="checkbox"/> アイトープ総合施設 <input type="checkbox"/> 薬学部実験動物施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他の施設(研究センター実験室) (申請中の場合 : 受付番号) 承認番号(29-000 BZ) 2017年 4月 10日 年 月 日							
新館では軽微な処置に限られます。動物を持ち出して解剖等の実験を行う場 合は、その場所を「動物実験の実施場所」として登録して下さい。								
想定される 苦痛のカテゴリー (選択項目を■) (別添 倫理基準参 照)	<input type="checkbox"/>	動物種						
	<input checked="" type="checkbox"/>	マウス	B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる 実験。					
	<input checked="" type="checkbox"/>	マウス	C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと 思われる実験。					
上記で苦痛のカテゴ リーC,D及びEに該當 する場合右のa), b)に 記入	a) 実験処置により動物 にどのような苦痛が 予想されるか具体的 に記入		<p>・予想されるストレス、痛み等の内容を記入して下さい(手術の痛みだけではなく、病態を生じることにより動物に継続的なストレスがかかる場合も考慮する)。</p> <p>・上欄でC、D及びEに複数チェックした場合は、 カテゴリーCは………。 カテゴリーDは………。 というように分けて記入して下さい。</p>					
	b) 苦痛を最小限あるいは排除するため別の 実験系を検討したか、 を具体的に記入		(別の実験系、例えばカテゴリーAの可能性について検討したか等)					
	動物の苦痛軽減、 排除の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要 はない。					
<input type="checkbox"/>		2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。						
<input checked="" type="checkbox"/>		マウス	3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (具体的薬剤名及びその投与量・経路記入:塩酸メテトミジン(0.3mg/kg)、ミダゾラム(4mg/kg)、 酒石酸プロルファノール(5mg/kg)・腹腔内投与)					
<input checked="" type="checkbox"/>		マウス	4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンド ポイントを考慮する。					

手術後の動物の管理 (該当項目をすべて■)	<input checked="" type="checkbox"/> 頻回の観察	<input type="checkbox"/> 保温	<input type="checkbox"/> 補液	<input type="checkbox"/> 特別食の給餌	<input type="checkbox"/> 栄養剤の投与
	<input type="checkbox"/> 鎮痛剤の投与	<input type="checkbox"/> 抗生物質の投与	この欄にチェックをする場合は「具体的な研究計画と方法」欄に手術の内容を明示して下さい。		
	<input type="checkbox"/> その他(具体的に記入: _____)				
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input checked="" type="checkbox"/>	マウス	1. 麻酔薬等の使用 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入: ペントバルビタール・200mg/Kg・腹腔内投与)		
	<input type="checkbox"/>		2. 炭酸ガス		
	<input checked="" type="checkbox"/>	マウス	3. 中枢破壊 (具体的な方法を記入: 頸椎脱臼)		
	<input type="checkbox"/>		4. 安楽死させない (理由 : (方法 :))		
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/>	マウス	1. 動物資源開発研究施設で処分		
	<input type="checkbox"/>		2. 外部業者に依託		
	<input type="checkbox"/>		3. その他 (具体的に ・組換え生物を使用する場合は申請が必要です。 ・承認から5年間有効ですので、実験開始時または実験期間中に5年を過ぎる場合は再申請して下さい。		

特殊実験区分 (該当項目を■)	<input type="checkbox"/> 倫理委員会	申請書提出年月日:	月	日	
	<input type="checkbox"/> 遺伝子組換え生物等第二種使用等安全委員会	申請書提出年月日:	年	月	日
	<input checked="" type="checkbox"/> 有害物質使用 ※■の場合	①「具体的な研究計画と方法」欄の該当部分にアンダーラインを入れる ②「有害物質使用に関する事項」を本計画書と併せて提出する			

※ 継続の場合成果を記入・変更の場 前年度の 成果や研究状況	<input type="checkbox"/> 継続の場合 前年度の 成果や研究状況	<input type="checkbox"/> 变更の場合は 変更の理由	記入
	るいは実施した実験の概要等を記載、必要に応じて別紙に記載 ・有害物質を使用する場合は、①で指定する部分にアンダーラインを入れるとともに、別紙1(有害物質使用に関する事項)に必要事項を記入し、この動物実験計画書と併せて提出してください。 ・有害物質使用に関しては、「ガイドライン」と「有害物質一覧」を確認してください。		

委員会記入欄	審査終了: 年 月 日
	修正意見等
	審査結果 <input type="checkbox"/> 本実験計画は、熊本大学における動物実験規程等に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え生物等第二種使用等安全委員会の承認後、実験を開始すること。) <input type="checkbox"/> 本実験計画は、熊本大学における動物実験規程等に適合しない。

学長承認欄	承認: 年 月 日
	本実験計画を承認します。
	承認番号: 第 号
熊本大学長	

